

令和 2 年度埼玉県病院事業会計決算の概要について

<決算のポイント>

- 新型コロナウイルス感染症の影響による入院収益の減少を主要因として医業収益が 2.3 億円減少
- 純損失は対前年度比 1.3 億円改善し、2.2 億円まで減少

※ 埼玉県では、令和 3 年 4 月 1 日付けで、埼玉県病院局を地方独立行政法人化し、地方独立行政法人埼玉県立病院機構を設立しました。

同機構では、高度・専門的医療や政策医療を担うため、循環器・呼吸器病センター（熊谷市）、がんセンター（伊奈町）、小児医療センター（さいたま市中央区）及び精神医療センター（伊奈町）の 4 つの県立病院を引き続き運営しております。

それぞれ 3 次医療機関の専門病院として、地域医療機関や県医師会と連携し、県民の皆さまの健康を守るべく、安心・安全でかつ患者さん目線の医療を提供してまいります。

1 収支状況

病院事業収益	590億5,400万円	（前年度比 11億5,100万円増）
病院事業費用	592億7,500万円	（前年度比 1億5,500万円減）
当年度純損失	2億2,100万円	（前年度比 1.3億 600万円減）

- 医業収益 404億円（前年度比 2.3億円減）
 - ・ 入院収益 265億円（前年度比 1.8億円減）
 - ・ 外来収益 128億円（前年度比 2億円減）
- 医業費用 559億円（前年度比 3億円増）
- 医業外収益 184億円（前年度比 3.4億円増）
 - ・ 補助金 25億円（前年度比 2.3億円増）
 - ・ 一般会計繰入金 135億円（前年度比 8億円増）
- 特別損失 0億円（前年度比 6億円減）

2 運 営 状 況

(1) 入 院

延べ入院患者数	344,252人	(前年度比40,829人減)
新規入院患者数	22,584人	(前年度比2,875人減)
病床利用率	70.1%	(前年度比8.1ポイント減)
平均在院日数	15.2日	(前年度比0.1日増)
一人一日当たり入院収益	77,110円	(前年度比3,592円増)

(2) 外 来

延べ外来患者数	428,041人	(前年度比33,881人減)
新規外来患者数	23,410人	(前年度比4,049人減)
一人一日当たり外来収益	29,889円	(前年度比1,715円増)

(参 考)

※ 医業収支比率（医療の提供に係る収支状況を見る指標）

72.4%（前年度比4.4ポイント減）